

## 2006年に死亡漂着した海棲哺乳類について

南知多ビーチランドが2006年1月から12月まで取り扱った海生哺乳類はすべてスナメリでした(写真-1)。

[写真-1] 死亡漂着したスナメリ



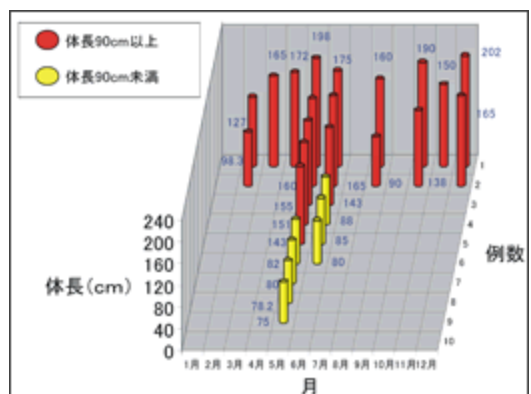
1年間で32例の死亡漂着がありました。内、伊勢湾では15例、三河湾では16例、遠州灘では1例でした(図-1)。また、雄20例、雌11例、性別不明が1例でした。

[図-1] 月別死亡漂着箇所



月別では、4月から増加し、5月でもっとも多く11例、6月で8例、8月以降は減少しました。また、可能な限り体長測定しましたが、体長が計測できたものは26例でした。

[図-2] 2006年に死亡漂着したスナメリの頭数と体長



最小体長は75.0cm、最大体長は202.0cmでした(図-2)。体長90cm未満の新生仔個体は5月と6月に見られ、伊勢湾・三河湾に生息するスナメリの出産時期は春から初夏であることがわかります。

これらの個体は、すべて腐敗が進んでおり、死亡原因は特定できませんでしたが、胃内容物を調査することにより食性がわかったり、新鮮な個体は解剖して病理検査を実施することにより死亡原因が判明する場合があります。死亡した個体からはいろいろな情報が得られるので、これからもできる限り標本採取しながら死亡漂着した海生哺乳類の調査研究を続けたいと思います。